

## 平成32年度から119番の受信場所が変わります

# 共同指令センターの運用に向けて準備を進めています

平成32年度から、千葉県北西部10市（松戸市・市川市・野田市・習志野市・柏市・流山市・八千代市・我孫子市・鎌ヶ谷市・浦安市）で119番通報受信などの指令業務を共同で行うため、8月1日に「松戸市ほか9市消防指令事務協議会」を設置しました。

お問い合わせは  
消防本部指令課 ☎459-7805へ

### 119番通報の方法は変わりません 出場は各市の消防署から行います

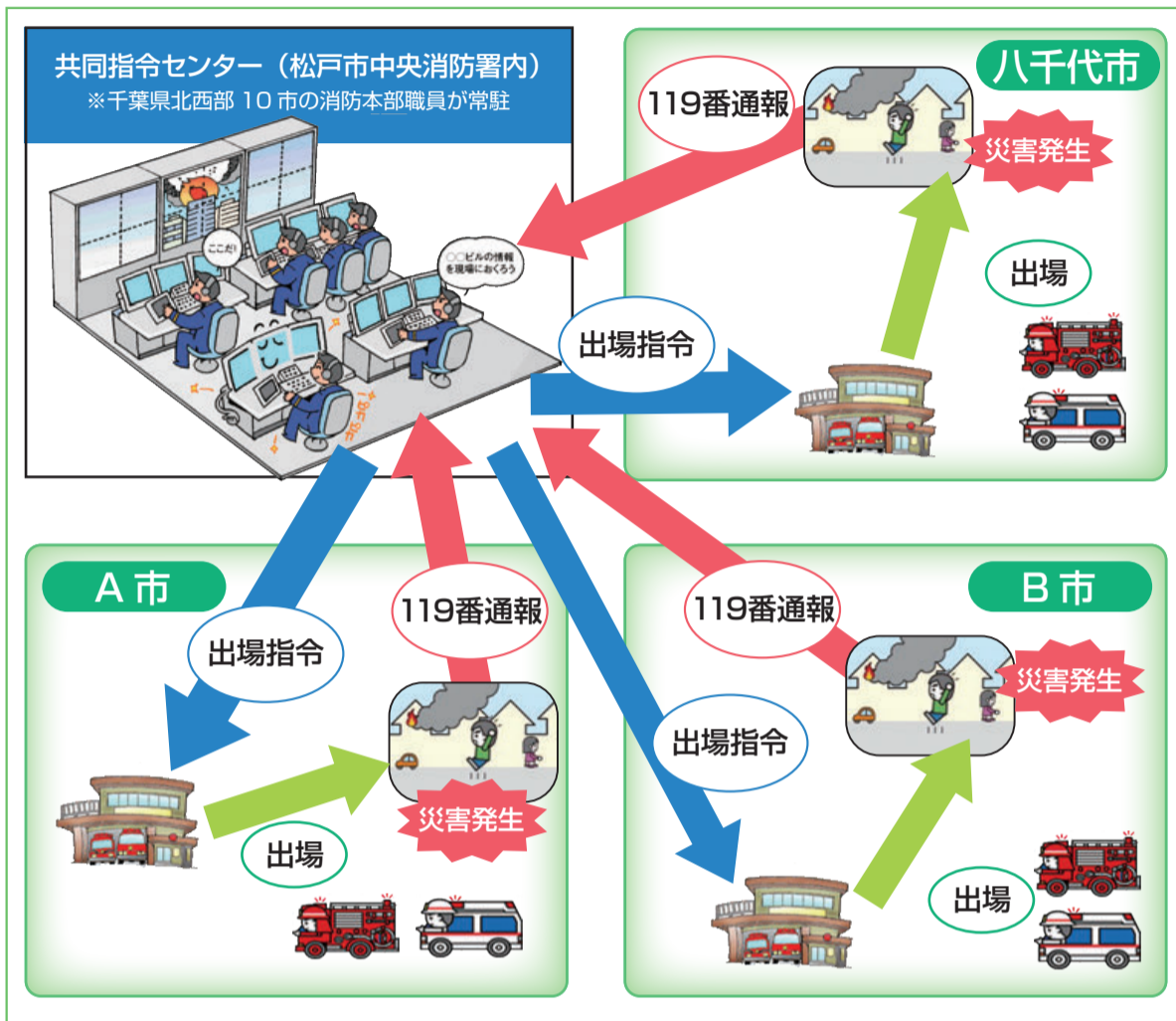
現在、市内からの119番通報は八千代市消防本部指令課で受信しています。4年後の平成32年度からは、業務の効率化と災害情報の一元化を図り消防力を強化するため、10市からの119番通報を松戸市中央消防署内に設置される「共同指令センター」で一括受信し、10市への上場指令を行います。119番通報の方法は変わりません。

119番の通報に対し、「共同指令センター」で一括して受信・指令を行いますが、消防車、救急車の上場は各市の消防署からとなり、これまでと変わりません。

### 広域の大規模災害にも 迅速・柔軟に対応

10市分の災害情報が1か所に集約され、共有されるため、広域的大規模災害などにもより迅速かつ柔軟に対応できるようになります。

共同指令センターでは、10市から職員を派遣するほか、最新の消防指令管制システムを導入するなど、皆さんからの119番通報にスムーズに対応できる環境を整えていきます。現在、4年後の運用開始に向けて、準備を進めています。



### 27年度決算に基づく健全化判断比率が改善

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率及び資金不足比率を公表します。

健全化判断比率は、①実質赤字比率（財政規模に対する割合で表した、一般会計等の赤字の大きさ）②連結実質赤字比率（財政規模に対する割合で表した、全会計の赤字の大きさ）③実質公債費比率（財政規模に対する割合で表した、借入金の返済額の大きさ）④将来負担比率（財政規模に対する割合で表した、借入金など現在抱えている負債の大きさ）の4つの指標で、資金不足比率は、事業規模に対する割合で表した公営企業の資金不足の大きさです。

地方公共団体の財政状況は健全化判断比率により「健全」「早期健全化」「財政再生」の3段階に、公営企業の経営状況は資金不足比率により「健全」「経営健全化」の2段階に区分されます。

27年度決算における本市の財政状況及び2つの公営企業の経営状況は、すべて「健全」となりました。

#### ■健全化判断比率

区分	27年度(26年度)	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (—)	11.72%	20.00%
連結実質赤字比率	— (—)	16.72%	30.00%
実質公債費比率	8.7% (9.8%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	51.1% (73.8%)	350.0%	

※実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」で表示

#### ■資金不足比率

特別会計の名称	27年度(26年度)	経営健全化基準
水道事業	— (—)	20.0%
公共下水道事業	— (—)	20.0%

※資金不足額がない場合は、「—」で表示

#### 【問い合わせ】

●健全化判断比率に関すること…財政課☎483-1151（代表）

●資金不足比率に関すること…上下水道局経営企画課☎483-6572

※詳細は市のホームページでも見られます。

広告